

Q27 うちの子はまわりとうまくやれるか心配です。

▲ お子さんの学習習得や行動面、友達との関わりなどで気になることは何でも気軽に相談してほしいとのことです。学校には、特別支援教育コーディネーターが指名され、校内委員会が組織されています。心配なことがあれば、お気軽にご相談ください。

コーディネーターが窓口となって、お子さんのことを考えることにより、学級担任一人が支援をするだけでなく、校内の多様な人材のチームで対応することが可能です。また、**通級指導教室**では学習の補充や友達とのかかわり方などを学ぶ学習を専属の職員がいて受けられるそうです。必要に応じて、スクールカウンセラーや医療機関等をご紹介することもできます。

こんな子いるかな?

- ●文章題になると面倒くさがってやらない。
- ●読んでいるうちに勝手な読み方をする。
- ●ノートいっぱい漢字練習をするのに、 ちっとも点が取れない。
- ●体育のある日は登校をしぶる。
- ●何度注意しても宿題をやらない。
- ●よけいなことを言って授業のじゃまをする。

- ●話したばかりのことを質問してくる。
- ●いつもいちばんでないとふてくされる。
- ●気が利かない。言われた通りにしか やらない。
- ●融通が利かない。頑固でわがまま。
- ●一人でぶつぶつ言っている。
- ●漢字や計算は得意なのに、グループ などでの話し合いに参加しない。

こうしたお子さんのできない理由を、「性格」「やる気のなさ」「努力不足」あるいは「しつけ」に求め、あきらめてしまっていることはないでしょうか。適切な支援があれば、もっともっと伸びていくお子さんかもしれません。

こうした特性があることを理解されず、適切な対応がないことで、学力不振、問題行動、 不登校、いじめ等の行動を引き起こすこともあります。まずは、特性を正しく理解し、お子 さんを十分に認めていくことが必要です。

Q28 いじめのない学校はありますか?

A いじめはどの学校でも起こりうるという認識です。いじめの根絶は、学校だけでは限界があります。学校やご家庭、地域をあげて、全部の大人が共通の立場から子どもたちに支援と指導を必要とします。子どもに関わる大人のスタンスとしては

1. いじめられる子どもに問題はないという立場に立つ

- ・「いじめられて当然である」という考え方は、間違っている。
- ・人をいじめる行為こそ問題である。

2. 「安心・表現・絆」のある関係を(学校・家庭に)つくる

- ・安心して自分の言い分を表現し、聴いてもらえる関係をつくる。
- ・成長エネルギーを高める雰囲気をつくる。
- 3. プレッシャーを減らし サポートに変える
 - ・安心して過ごせる、助け合う関係をつくる。

いじめられていることを言えない子の心理

- ・先生や親に言うと、仕返しされるかもしれない。
- 家のなかを暗くさせたくない。
- ・自分の問題で、親を悲しませたくない。
- ・おまえも悪いと言われないか不安。
- ・本当に助けてくれるだろうか。
- ・せめて家だけででもゆっくりしたい。
- ・黙って逃げ出したい。死にたい。遠くへ行きたい。
- ・「弱虫」と言われないだろうか。

こんな気持ちから救いましょう

いじめに加わる子の心理

- ・おもしろいから。
- ・仲間はずれにされるから
- ・みんながしていたから
- ・うらやましいから
- ・みんなと(自分とは)違うから などの理由から結果的にいじめに加わる。

絶対に間違っていると教えましょう

学校は対人関係が渦を巻いている場所です。その中で子どもたちには、たくましく、やさしく育って欲しいと思います。でも、それはいじめを放置する事とは違います。一人一人が安心して生活を送れる環境を目指していきましょう。

Q29 いじめの相手の電話番号は教えてもらえるの

▲ いじめに限らず、学校は保護者の承諾なしに個人情報は教えてくれません。担任の先生に文句を言ってもダメです。それで私達の個人情報も守られているわけです。これまでにも書かれていますが、問題があったときは先生と相談することから始めることをおすすめします。



Q30 子どものけんか。相手がけがをしちゃった。

A いろいろなケースや考え方があります。そこで、経験者からの意見を集めてみました。

「子供のけんかにおとなは口を出さない」という考えの人もいますが、ケガをしてしまったとなると、知らんふりはまずいと思います。親として、謝罪すべきことは、謝罪すべきだと思います。(Aさん)



早く、けんか相手の保護者 の方と会うことをすすめます ね。時間がたつと、相手の誠 意に不信を持ちますね。

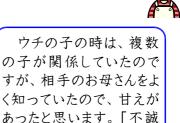
「うちの子がこんなに辛い思いをしているのに・・・・」という、親としてのイライラを感じました。(Aさん)

私の場合は、電話でお詫びしましたが、「誠意がない」と、話がこじれてしまいました。ケガを「した側」と「させた側」では、気持ちに大きな差があることを、しみじみ学習しました。
(Bさん)



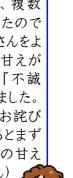
子どもは、自分に都合よく話すので、簡単に考えてしまったのは反省しています。先生に会って、よく事情を聞くべきでした。(Bさん)

私は、逆にていねいな 謝罪をうけて、自分の子 がきっかけを作ったこともあ り、恐縮してしまいました。 (Cさん)



実だ!」と言われました。 親同士の関係で、お詫び に差があったりするとまず いですね。親としての甘え

がありました。(Dさん)





231 携帯電話やスマホは、小学生には早すぎますか?

A 携帯やスマホは保護者の持ち物です。

ネット接続の携帯は増加!ゲーム機もネット通信機能が!

携帯電話やネット通信のトラブルは小学生でも問題になってきています。一度夢中になると簡単にやめられないことも問題になっているそうです。

深刻な問題 ~成績低下、体調不良、いじめ~

危険回避のためには、小・中学生のうちは、子ども専用の携帯電話やスマホを持たせないことが一番の対策と言われています。

持つ前に 使う前に 育てたい判断力・行動力

携帯電話・インターネットを使うためには、下に挙げたような適切な判断力と行動力、 多くの知識が必要です。(他にもたくさんあります。)

- ◇ 健康や学習を優先し、節度のある使い方ができる。
- ◇ 相手に誤解を与えない文章を書くことができる。
- ◇ 情報が正しいかどうかを判断し、冷静な対応ができる。
- ◇ インターネットの特性を知っている。
 - ・書き込んだことは、世界中に公開される。
 - ・書き込んだことは、取り消しができない。
 - ・匿名で書き込んでも、書き込んだ人を特定できる。
- ◇ インターネット利用上のルール(個人情報、著作権など)を知っている。

Q32 学校の子どもへの対応に不信がある

▲ なによりもまず、不信があれば、その原因となった事実を確かめることが大切です。 そして、目の前のお子さんを大事にするという視点で、学校と家庭が協力していく関係を 作ることが、お子さんにとって一番のメリットになると思います。

お子さんが、学校のことを家で話してくれるほど、保護者の皆さんも学校の様子がわかり、お子さんとの会話が活発になるものです。でも、お子さんからの情報が誤っていたり、一部だけが伝わったりすることで、保護者の皆さんが担任や学校への不信を持つことがあります。もちろん、不信が当たっている場合もあります。PTAに相談がくることがありますが、そんなときにお話しするのは次のようなことです。

- ○子どもの前では不信や不満を話さない。簡単に子どもの不満に同調しない。 お子さんの学校への不信感を高めても、メリットがない。辛くなるのはお子さんです。
- ○まず、担任と連絡をとることです。

電話や手紙などで連絡をとるとよいでしょう。電話ならお子さんの不在の時間、連絡帳より 手紙など、お子さんの目や耳に入らないほうが、よい場合も多くありそうです。

- ○「**文句を言う」のではなく「相談する」ほうが、お子さんへのメリットが大きいです。** 一方的に苦情をぶつけても、保護者と担任の先生の「意識のずれ」が生まれたら問題がこじれるだけです。
- ○担任以外の先生と連絡をとるという方法もある。

担任と相談しても解決しない場合や、担任には話しづらいという悩みもあると思います。 そんなときは、これまでに出会ってきた先生や担任以外の先生にお話するのも解決策です。



Q33 子どもの悩みは、学校以外に相談できるの?

A 相談できるところは、意外に多いです。身近なところでは、

☆足利市学校教育相談室(電話 42-7672)

※生涯学習センター(旧相生小)で月~金の9:00~17:00

☆身体や発達の心配は、 安足健康福祉センター、

☆虐待や生活支援については、市役所の子ども課、県南児童相談所なども 相談にのってくれます。

☆足利市福祉事務所(市役所子ども課家庭児童相談室) 0284-20-2137

☆県南児童相談所 0282-24-6121